

NICE 月例報告書 (Vol.3 - 2022 年 8 月号)

厳しい暑さの毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか？さて、特活) NICE (ナイス = 日本国際ワークキャンプセンター) では、月例報告を季刊「NICE プレス」の発行月 (2,5,7,11 月) を除く、毎月前半に発行しております。第 3 回となる今号を最後までお読み頂けますと幸いです☆

【目次】(クリックすると各記事へ!)

- ① 一目で分かる・7 月の活動実績一覧表
- ② Pick up! 活動のハイライトを幾つかご紹介
- ③ 参加者募集中☆ 8 月の活動予定一覧表
- + 事務局日記 ～総合研修のーコマ

① 一目で分かる・7 月の活動実績一覧表

開始	終了	開催地	主なワーク	種類	人数
07/02	07/03	奈良県御所市	美しい風景が広がる有機田んぼの草取り	国超	6
07/02	07/03	広島県呉市	限界集落で、田舎体験ツアーを運営	国超	2
07/04	07/16	エストニア	中高生達のサマーキャンプを運営補佐	海短	#
07/04	07/02	米国 Minnesota 州	発達障がい者の園芸、木工等の補佐	海長	1
07/05	09/30	タイ Koh Sukorn	離島で、有機農業や子ども活動	海長	1
07/06	07/19	ネパール Daman	地震被災地で、子ども達と植樹や清掃	海短	3
07/11	08/31	鹿児島県和泊町	離島で人手不足の農家で花や芋の手入れ	国長	1
07/14	07/20	山形県最上町	キクラゲ栽培、野菜収穫、草取り	国短	3
07/16	07/17	大阪府富田林市	間伐、倒木の皮むき等の里山保全作業	国超	12
07/16	07/18	石川県加賀市	住民 1 名の伝統建築保全地区で、農作業	国超	4
07/17	-	東京都東久留米市	児童養護施設で休み前の子ども達と遊び	国超	2
07/18	-	オンライン	ウクライナとミャンマーの活動を紹介	イベ	27
07/21	07/27	福井県勝山市	住民 1 名の山村で、古民家や畑の再生	国短	17
07/23	07/24	神奈川県横浜市	庭の手入れ・紫蘇の加工。総合研修	国超	14
07/25	08/04	福岡県八女市	田の草取り、小学生農作業体験サポート	国短	2
07/28	09/01	山形県最上町	過疎・高齢化地域で平飼養鶏、農作業	国長	1
07/29	08/20	オンライン (韓国主催)	国際青年交流企画で環境保護を話し合い	イベ	#
07/30	07/31	広島県呉市	数年前に被災した限界集落で畑の整備等	国超	5

- * ここでは 7 月開始分のみを記載。太字の活動は次頁以降でハイライトをご紹介します。
- * ワークの色は主な分野 (複数の場合も多いが一つに限定): 環境 農業 開発 文化・平和 教育 福祉
- * 種類: 国超 = 国内超短期・週末 (1~6 日間)、国短 = 国内短期 (7~29 日間) 国長 = 国内中長期 (30 日間~1 年間)、海短 = 海外短期、海長 = 海外中長期、イベ = イベント
- * 人数: 参加ボランティアの人数 (国超は事前登録者数)。この他に住民の方々が大量参加! #は確認中
- * 海外短期には上記の他、7 名が参加 (アイスランド、ドイツ、スイス、イタリア 3、エストニア)。
- また、ワーク無しの事前研修 (7/8 東京、7/21 大阪、7/28 オンライン) も開催。

② Pick up! 活動のハイライトを幾つかご紹介

[\(目次へ戻る\)](#)

☆ ウクライナ&ミャンマーと共に!世界平和アクション・ナイト(7/18)

ウクライナでの戦争に関するニュースが毎日沢山報じられています。が、その中で多くの動物達も苦しんでいることはほとんど知られていません。避難民と共に電車に乗ることを許されず駅に放置された犬。飼い主が亡くなった猫。何千匹ものペットが放置され、窮しています。

また、世界中の沢山の惨い戦火・非道な破壊も忘れられています。ミャンマーを含めて。カヤ州では人口の 1/3 を超える 10 万人超が IDP (国内避難民) として追われ、精神的・身体的・経済的に過酷な状況に苦しんでいます。



そこで NICE では 7/18、提携 NGO のウクライナ UF、ミャンマー GIVE と共に、世界中に呼びかけて、のオンライン・イベントを開催しました。そして 10 ヶ国から 27 名が参加しました (うち日本から 17 名。他はフランス、イタリア、インドネシア、ミャンマー、ウクライナ、ネパール、スリランカ、タイ、韓国から)。

まず UF 事務局長の Ingaさんから、動物達の救援活動を話してもらいました。彼女は自宅でも 30 匹の犬を引き取っています! 救出した動物のほとんどは提携団体を通じて欧州各国で引き取られています。が、まだまだ行き場のない動物も多い中、UF は燃料代の高騰もあってポーランドから支援物資を運ぶ資金が足りず、設立 30 数年で初めて寄付を募っています。



「何で人間じゃなく動物を助けるんだ? そう批判されたら、どう答える?」と聞いたのは、インドネシアで捨て猫達を救う NGO を運営している Ben。彼もよく言われるそうです。

Inga は答えました。「私達は難民も支援してるわ。だけど動物達も家族の一員で大切な存在なの。ペットは人間なしでは生きていけないので、世話をするのは人間の責任よ。他の誰も助けてくれない中、私達を必要としているの」。

GIVE 事務局長の Thazin は、IDP の人々が生活の質、収入や技能を高めるために、土地を買って有機農法を営み、公正な市場も創り出すプロジェクトの構想を紹介しました。そして実験的に 4,000 平米の土地を買って 5 世帯に始めてもらうには、約 65 万円の資金が必要です。

「もし IDP が故郷に無事戻れたら、農地は誰が管理するの?」と、文教大学教授の渡邊さんから鋭い質問。「残念ながら、少なくとも 1-2 年は戻れる見通しは立たなそうで、その間もっと健康で。"Unfortunately, they may not to 安定した生活が必要だわ。それに彼らの故郷は軍にメチャメチャに壊されてて当分使えないしら、今回の農場はそんなに遠くないので、行ったり来たり生活になるはずよ」と Thazin。



以上が当日のダイジェストでしたが、NICE では[こちらの頁](#) (下部) 等で、ウクライナの動物保護、ミャンマーの避難民支援への寄付を募ってます (それぞれ 300 円から)。既に 10 名から 74,200 円を頂きました!

ぜひ皆さまもご寄付や知人へのご紹介、これから始める予定のクラファン実行チームへの参加等、ぜひご協力頂けますと幸いです! 1 匹、1 人でも救う力が新たに生まれることを願い...

(イベント司会進行/ NICE 代表 開澤より)

☆ ネパール 「村人や子ども達と、いっぱい思い出！」(7/6～7/19)



- * 写真左から、①ホームステイ先から見た村の景色。②ごみ拾いを手伝ってくれた子ども達。
③学校で子ども達に折り紙を教えている様子。④ホームステイ先での夜ご飯の様子

参加者は日本から2名。コロナ禍に入って以来初めてのボランティアだと現地団体の方が仰っていた。Daman という農村に滞在した。

緑豊かで、ヤギや犬、牛、鶏、ネコなどの動物もよく見かけた。雨季に滞在したため、ほぼ毎日夕方から夜にかけて雨が降るが、昼間は晴れる。山の中なので基本的には涼しい。道はコンクリートで舗装されていない砂利道が多い。

ワークは9割が学校の子供達と遊んだり日本文化を教えることだったが、ボランティアがやりたいことを言えば尊重してくれる。校庭のごみ拾いや植樹も行った。学校が休みの日はこういったフィジカルワークが主だったが、近所の子供達も自然と寄ってきて手伝ってくれた。

現地の人々との交流に重きを置いたワークキ

ャンプとなった。学校の子供達、先生、ホストファミリー、近所の子供達、栄えた街に住むキャンプリーダーのご家族、丘の頂上に住む家族… 様々な方々と関わり、お話しすることができた。大人も子どもも「次はいつネパールに来るの？」と聞いてくるような人懐っこさがある。

自分が現地の人々のために何か根本的な問題を解決できたかと言われると自信はないが、日本と同じアジアの国からネパールに興味を持ち遥々やってきたボランティアがいるのということ自体を喜んでくれているように感じた。日本や他の海外にいつか行ってみたいという子供達も多く、これは今まで来たボランティアが現地の人に良い影響を与えた証だと思った。

(日本から参加した F.K さんより)

☆ エストニア 「世界の高校生に私が教えた日本の文化は・・・」(7/4～7/16)



エストニアの首都タリンにある語学学校で、科学をテーマにしたサマーキャンプの運営をお手伝いしました。キャンプには世界中の高校生が集まり、運営のボランティアも多国籍でした。科学に関する実験をしたり、ボランティアが子ども達に自国の文化を紹介しました。私は空手道着を持参して、空手を教えました。

(リーダー/ NICE 職員の佐藤将太より、抜粋)

- * 高校生ワークキャンプを8ヶ国のNGOが共同で推進する特別事業「Go Teen」の一環で開催。10月には総括会議を日本で開催。

もっと詳しい報告を見たい方は[こちら](#)。または上のQRコードから！

☆ 山形県最上町 「農業のやり甲斐って何だろう!？」(7/14~7/20)



最上の荘園と2021年から共催。農作業を通して農村の理解を深め、人口減という課題を乗り越えるべく、ボランティアを受入。

代表は過疎地域を何とかしようと精力的に活動。中長期ボランティアも募集中。

最上の荘園の菅さんが育てるキクラゲの収穫、ホーリーバジルの植付がメインの作業でした。養鶏場で餌やりや水やりも行いました。一番の成果はホーリーバジルの植え付け作業にお

いて約300株もの苗を植えられたことです。農業のやりがいについて学びました。

「実際に自分で植えたものを育て、収穫し、食べることで多くの人が笑顔になる」ということが農業のやりがいなのではないか、とワークや生活を通して感じました。

(リーダーの石渡竜成さんより、抜粋)

石渡さんは、今回が初めてのキャンプリダー挑戦になりました。もっと詳しい報告は[こちら](#)。または上のQRコードまで！

☆ 福井県勝山市 「住民1名の美しい山村に、6家族参上！」(7/21~7/27)



特活)小原ECOプロジェクトは貴重な民家を7戸修復し、登山道の整備や耕作放棄地の再生、エコツアーも実施している。NICEとは2009年から共催し、アジア初の国際親子ワークキャンプも2013年から毎年開催中。

10回目!の今年は6家族17人が集まって、いっぱい働き、遊び、食べ、笑いました☆半分以上がリピーターなのは魅力いっぱいの証拠!

左の写真は古民家の布団干し(100枚以上!)、真ん中は茶畑の草取り(すっかり綺麗に☆)。そして右は「水かけ祭り」で冷え切った冷えた体を温める、大人気のドラム缶風呂。

他にもスイカ割り、何でも流し素麺、近くの川場で化石発掘、蛍狩り、盛り沢山だったネ!第40回は、みんな子連れで戻ってくるかな!?

(リーダー/NICE代表 開澤より)

【野崎家の感想も、一部ご紹介!】

●最高の思い出:「湧き水遊び。寒かったけど、必殺技を決めた」「疲れることもあるけど、でっかい家族みたいで、やっぱりすごい親子ワークキャンプっていいな。この時代に逆行する、人間関係の濃さがすごい魅力!」

●最悪の思い出:「長靴がびしょ濡れ」「男子と喧嘩しちゃった」「虫刺され」

●美味しかったもの:「インスタント麺の朝ご飯」「ポリビア料理」「イワナ」「カフェオレ」

●また素敵な思い出が沢山できた、楽しいキャンプでした。一年のうちの一週間ってそんなに長くないのに、キャンプの景色や水の冷たさ、みんなとのわいわいした時間はいつまでも心に残るから不思議。ありがとうございました!

③ 参加者募集中☆ 8月の活動予定一覧表

[\(目次へ戻る\)](#)

開始	終了	開催地	主なワーク	種類
08/01	08/07	青森県鮎ヶ沢町	子ども自然キャンプの運営補佐	国短
08/03	08/12	福島県いわき市	環境整備、子どもキャンプの準備・補佐	国短
08/04	08/10	栃木県益子町	荒れた里山や森整備、自然イベント運営	国短
08/04	08/17	徳島県徳島市	阿波踊り遊覧船の運行サポート	国短
08/05	09/16	タイ Koh Sukorn	離島で、有機農業や子ども活動	海長
08/06	08/07	香川県男木島	美しい離島で、芸術祭の運営を補佐	国超
08/06	08/07	埼玉県さいたま市	有機農業と生産者応援活動。総合研修	国超
08/07	-	福井県南越前町	花はすキャンドルナイトの運営を補佐	国超
08/07	08/14	島根県美郷町	自然豊かな町で、伝統漁法の保全	国短
08/09	08/19	三重県名張市	里山整備と子どもキャンプ運営手伝い	国短
08/11	08/15	カンボジア Kampot 州	自然と暮らしを守る、マングローブ保全	海超
08/12	08/14	三重県名張市	青少年里山探検キャンプの運営を補佐	国超
08/12	08/14	広島県尾道市	美景の島で、瀬戸田映画祭の運営を補佐	国超
08/18	08/31	徳島県鴨島町	児童館でオンライン企画や子どもと遊び	国短
08/19	08/25	長野県小谷村	生活共同体で、有機農業や荷揚げ	国超
08/19	08/30	フィリピン Cebu 島	被災地復興。小学校で異文化理解授業	海短
08/19	08/26	徳島県阿南市	四国遍路の周辺で農業支援、集落再生	国短
08/20	08/21	石川県加賀市	住民 1 名の伝統建築保全地区で、農作業	国超
08/20	08/21	香川県男木島	美しい離島で、芸術祭の運営を補佐	国超
08/20	08/21	福岡県宮若市	植林地の下草刈り、竹林の整備	国超
08/22	08/31	奈良県御所市	耕作放棄地の手入れ、有機農業お手伝い	国短
08/22	12/31	福島県会津若松市	『こども食堂』の子ども達と過ごす夏！	国長
08/26	09/01	徳島県阿南市	四国遍路の周辺で農業支援、集落再生	国短
08/26	09/01	高知県大川村	人口最小の村で森林等の保全、教育支援	国短
08/27	09/02	福井県勝山市	住民 1 名の山村で、古民家や畑の再生	国短
08/27	08/28	香川県男木島	美しい離島で、芸術祭の運営を補佐	国超
08/29	09/02	福島県いわき市	森林保全活動、散策路整備で里山保全	国超
08/30	09/05	福島県いわき市	環境整備、映画祭準備・運営・片付け	国短

* ワークの色は主な分野（複数の場合も多いが一つに限定）：環境 農業 開発 文化・平和 教育 福祉

* 種類：国超＝国内超短期・週末（1～6日間）、国短＝国内短期（7～29日間）国長＝国内中長期（30日間～1年間）、海超＝海外超短期、海短＝海外短期、海長＝海外中長期

* 海外短期には以下の国々に 133 名が参加予定。またワーク無しの事前研修（8/25 オンライン）も開催。

アイスランド（5名）、フィンランド（3名）、イギリス（2名）、ベルギー（2名）、フランス（11名）、ドイツ（22名）、スイス（6名）、ポルトガル（3名）、スペイン（4名）、イタリア（6名）、トルコ（2名）、ケニア（7名）、南アフリカ（2名）、チェコ（5名）、エストニア（4名）、アルメニア（1名）、インド（5名）、ネパール（6名）、タイ（4名）、カンボジア（13名）、フィリピン（7名）、モンゴル（6名）、米国（2名）、メキシコ（5名）

【事務局日記 ～総合研修の一コマ～】 [\(目次へ戻る\)](#)

7/23～24、NICE 全国事務局で総合研修を行いました。日本・世界でワークキャンプに参加するカラフルなメンバーが庭作業やワークショップをしました。みんな、素敵な経験を☆（佐藤）



お陰さまで先月も順調に活動が続け、各地で様々な成果を生み出すことができました☆
今月も一層力を込めて実行して参りますので、引き続き、ご参加・ご協力をお願い致します！

特定非営利活動法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）

NICE 月例報告書（2022年8月号）

2022年8月14日発行

編集：開澤真一郎（NICE 代表） / 佐藤将太（寄付事業部主任）

ウェブ：<https://www.nice1.gr.jp> メール：donation@nice1.gr.jp（佐藤）